

Information

東京大学との「脳科学的」音楽教育の 共同研究開始を記者会見で発表



1月24日(火)、渋谷ヒカリエで、東京大学大学院総合文化研究科の酒井邦嘉教授(写真・右)と、スズキ・メソッドの早野龍五会長が記者会見を行ない、音楽の習得や演奏評価に関する脳メカニズムを特定するため、共同研究を開始することを発表しました。人間に固有の言語機能や美意識に関わる脳のメカニズムの解明を目的に、脳機能・構造のネットワークの変化を定量的に計測する研究を、向こう5年間にわたり行ないます。

「毎日メディアカフェ」でも、 共同研究の狙いと意義について披露

1月31日(火)、毎日新聞社地下の毎日ホールで行なわれた「毎日メディアカフェ」では、東大の酒井先生に早野会長が質問をする形で、共同研究の目的やその意義について、発表されました。「人間の持つ創造性を明らかにしたい」という酒井先生は、「よりよい演奏を目指したいということに関係した脳の場所がどこなのか、明らかにしたい」と目標を設定。「個人差が、音楽経験や個性としてどう反映されるのかを明らかにしたい」と抱負を語りました。



マンスリースズキ2月号で、詳しく紹介しています。